

行政経営会議 事案書

開催日：令和6年3月21日（木）

担当課：政策部総合計画担当

件名：新大和市総合計画基本構想等の骨子（案）について

提出理由：新大和市総合計画の策定にあたり、その基本構想等の骨子案について了承を得るため

内容：

1. 背景

- ・現在、市としては、市民が幸せを実感できる大和市を目指して新たなまちづくりを進めており、市民の声に耳を傾け、市民に一層寄り添った取り組みを展開していく考えである。
- ・この考え方は、市の政策及び施策全般に関わっているため、大和市の将来都市像や政策の方向性を示す基本構想に影響することから、新たな総合計画（以下「新総合計画」と言う。）を策定する必要がある。
- ・また、総合計画には市民や議会に市政の中長期的な展望を示し、理念を共有するといった役割があり、新たな施策を効率的かつ効果的に進めるためには、新総合計画を速やかに策定する必要がある。

2. 基本的な考え方

- ・本市の最上位計画に位置付けるとともに、市民に分かりやすい計画とする。
- ・また、市民が幸せな状態でいられることを第一とするとともにつながりが幸せの大事な要素とされていることから、市民同士、市民と地域、市民と行政、地域と地域などの様々な「つながり」に着目した施策を展開していくことを新総合計画の大きな方向性とする。
- ・加えて、全国的な少子高齢化や人口減少、地球温暖化、自然災害の頻発化、人工知能の進化、デジタル化の進展等に伴う社会情勢の大きな変化や周辺土地利用の転換による影響、市民意識調査の結果等も考慮していく。
- ・新たな施策の展開を早期に実現すべく、計画期間の開始は2025年度（令和7年度）とする。

3. 骨子案の内容

(1) 将来都市像

みんながつながる健幸都市やまと

(2) 計画期間（目標年次）

- ・計画期間：2025～2034年度（令和7～16年度）
（目標年次：2034年度（令和16年度））

(3) 計画期間における人口の推移

- ・24万人台後半での増加傾向が続き、25万人に近づく。

(4) 土地利用の方向

- ・本市の構造を特徴づけている「3つの軸」と「3つのまち」を基本とし、少子高齢化、大規模災害への備えなど様々な課題への対応や、周辺土地利用転換を考慮しながら都市機能の充実を図り、本市の持続可能性を高めていく。

(5) 財政運営の方向

- ・社会保障関連経費や公共施設老朽化に伴う費用の増加を踏まえ、財源の確保と的確な配分により持続可能な財政運営を推進していく。

(6) 計画の体系

ア) 将来都市像実現に向けた目標

- ①いつまでもみんなが元気でいられるまち
- ②みんなが支え合うまち
- ③こどもが将来に希望を持って生きるまち
- ④地域の絆が深く、多様性を認め合うまち
- ⑤にぎわいを生み出すまち
- ⑥安心して暮らせる安全なまち
- ⑦人と環境に優しい都市空間が広がるまち

イ) 行政経営の方針

- ・行政経営の基本的な考え方を示す。

経過

- H31. 2 健康都市やまと総合計画策定
- R 5. 5 新市長就任
- R 5. 12 市民意識調査の実施

今後の予定

- R6. 4 総合計画審議会への諮問
- R6. 7 総合計画審議会の答申
- R6. 8 行政経営会議（基本構想・基本計画素案）
- R6. 10 意見公募手続等の実施
- R6. 12 市議会への基本構想案の上程